

2021年12月20日

阪急阪神不動産株式会社
旭化成不動産レジデンス株式会社

「三田駅前 C ブロック地区第一種市街地再開発事業」 市街地再開発組合設立のお知らせ

◆三田駅前再開発の集大成。JR 三田駅デッキ直結の複合プロジェクト◆

阪急阪神不動産株式会社(本社:大阪市北区、社長:諸富 隆一)と旭化成不動産レジデンス株式会社(本社:東京都千代田区、社長:兒玉 芳樹)は、両社が参加組合員として参画している「三田駅前 C ブロック地区第一種市街地再開発事業(以下、「本事業」)において、兵庫県知事より組合設立の認可を受け、12月18日に「三田駅前 C ブロック地区市街地再開発組合」(以下、「本組合」、理事長:吉本 尚登)が設立されたことをお知らせいたします。

三田市では、1983年に策定された「三田駅前再開発構想」に基づき、三田駅前地区約5haをAからDの4ブロックに区分し、順次、市街地再開発事業を実施し、すでに、A、B、Dブロックが事業完了しています。

Cブロックでは、2015年6月に準備組合が設立され、両社は2018年6月に事業協力者として選定されて以来、市街地再開発事業の実現に向けて、地権者様の合意形成などの支援に努めてまいりましたが、2020年3月に都市計画決定が告示され、今般、本組合の設立が認可されました。

本事業は、JR三田駅と南側約1.9haの区域とをデッキで直結するほか、「にぎわい広場(仮称)」のある地上3階建の商業棟とその前面に地上20階建の住宅棟(集合住宅等)を一体で開発します。

また、道路の一部拡幅や細分化した土地を集約するとともに、不燃性・耐震性の高い建物を整備することで地域防災性の向上を図ります。

今後も地権者様をはじめ、関係者(参加組合員:阪急阪神不動産・旭化成不動産レジデンス共同企業体、建設系事業協力者:熊谷組、事業推進アドバイザー:再開発研究所、事業推進コーディネーター:都市問題経営研究所、商業コンサルタント:オーク計画研究所)が一丸となり、JR三田駅前の顔として「にぎわいとうるおい」のある、また市民の皆様「愛着と誇り」を持っていただける街づくりを進めてまいります。

■外観イメージパース(JR 三田駅側より)



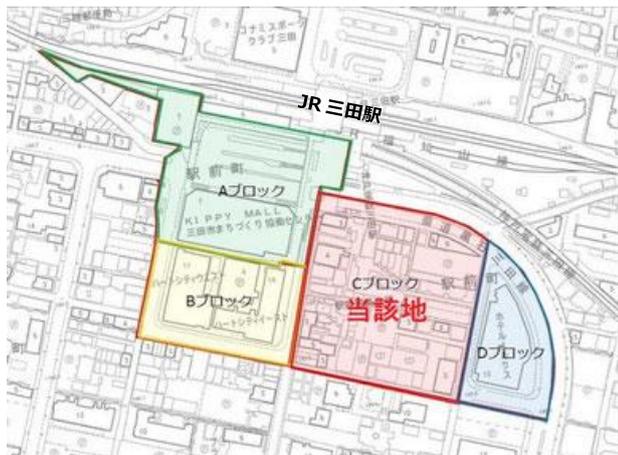
※建物完成予想図:今後の関係機関協議等により変更の可能性があります。

■計画概要

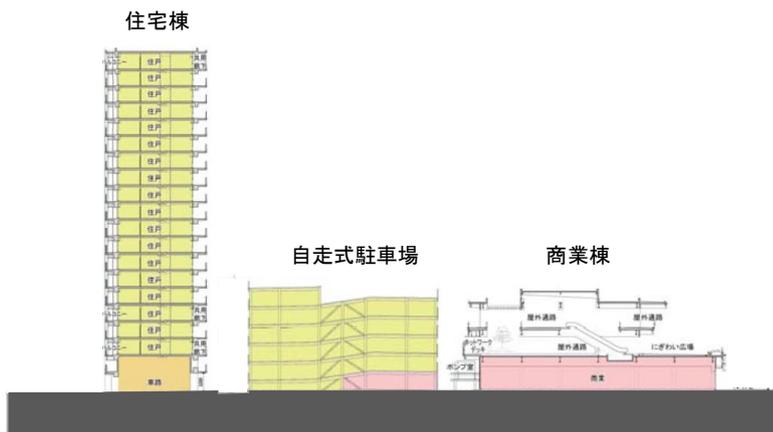
事業主体	三田駅前 C ブロック地区市街地再開発組合
所在地	兵庫県三田市駅前町
主要用途	店舗、業務、住宅、駐車場
区域面積	約 1.9ha
施設建築物延床面積	約 71,400 m ²
階数・高さ	住宅棟:地上 20 階/約 60m、商業棟:地上 3 階/約 19m
権利変換計画認可	2022 年度(予定)
建築工事着手	2023 年度(予定)
先行建築工事完了	2025 年度(予定)
工事完了	2026 年度(予定)

※計画概要:今後の関係機関協議等により変更の可能性があります

■位置図



■断面図



※断面図:今後の関係機関協議等により変更の可能性があります。